



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年4月16日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第14週  
(4/5~4/11)  
3月報合併号

<情報編>

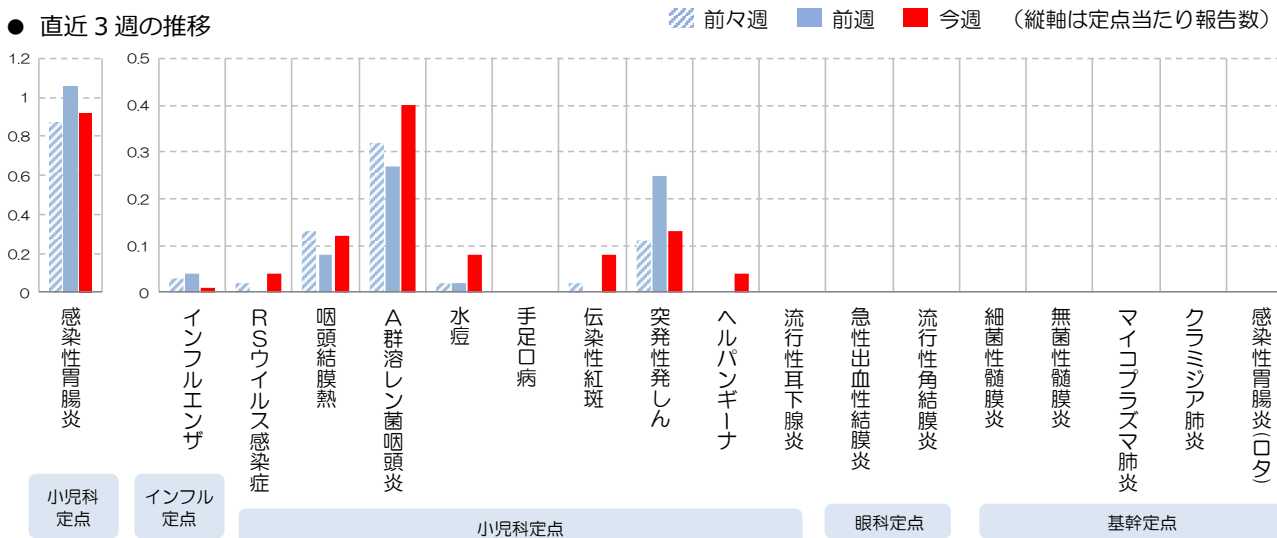
## 今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症について、県内での発生報告数が増加しています。また愛知県では4月20日から「まん延防止等重点措置」が実施される予定です。第3波後の感染再拡大を防ぐため、県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、3密を回避するなど、感染リスクを避けた慎重な行動をお願いいたします。

## 定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

### ● 直近3週の推移



## 全数把握対象疾患

### ● 新規報告分

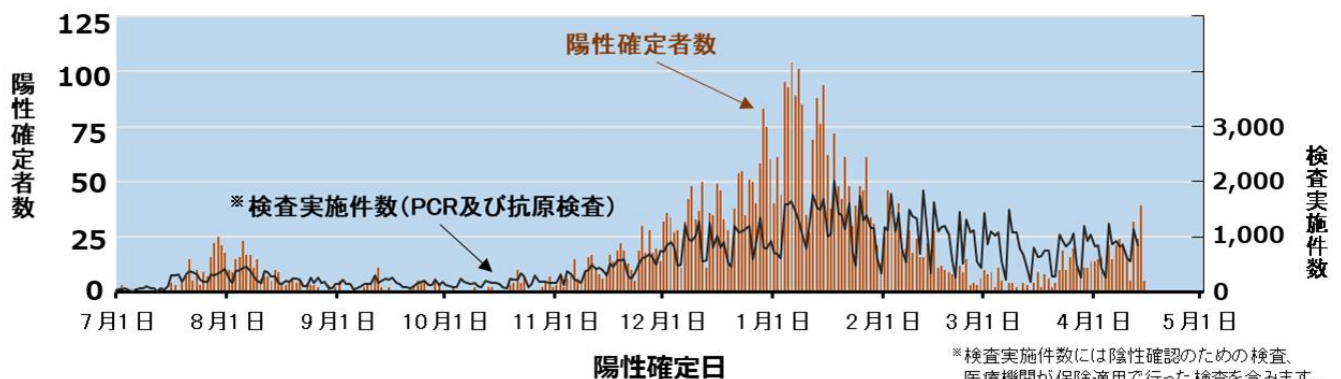
- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核2例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：なし

- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒2例
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症124例（4/5~4/11(陽性確定日による集計)）

### トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は5125人(県外居住者72人含む)となりました(令和3年4月15日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると下記ようになります。

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)

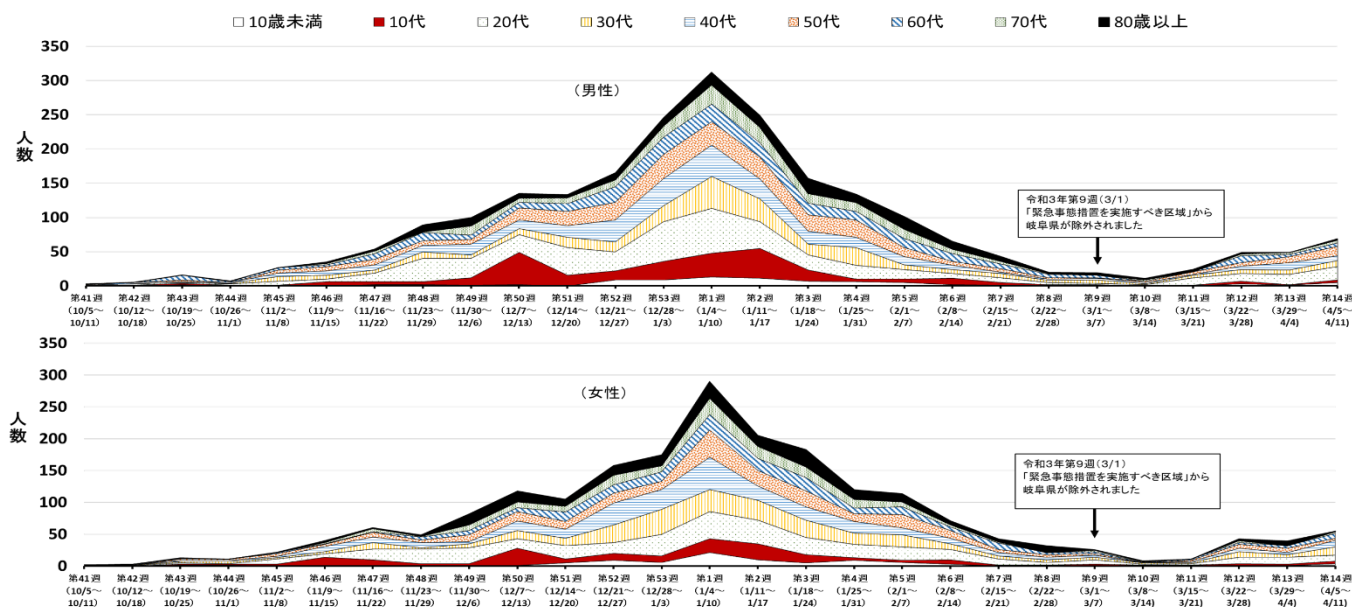


\*検査実施件数には陰性確認のための検査、医療機関が保険適用で行った検査を含みます。

<情報編>

令和3年第14週の新型コロナウイルス感染症陽性確定者の報告数は124人であり、前週の88人からは増加傾向が認められました。また愛知県においても発生報告が増加し、4月20日から「まん延防止等重点措置」が実施される予定です。第3波のデータによると、報告数に増加のみられた初期段階では70代以上の患者割合は比較的少なかったのですが、その後徐々に割合が増加していきました。今後県内の発生報告が増加し続けた場合、同様に高齢の方のり患割合が増加する懸念があります。高齢の方がり患した場合重症化するリスクが高く、より注意が必要と考えられます。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、第3波後の感染再拡大を防ぐため、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、多人数での長時間に及ぶ会食を避けるなど、感染リスクを避けた慎重な行動をお願いいたします。

第3波後の岐阜県における陽性確定者発生の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症に対する岐阜県の対応について」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26717.html>

(参考) 岐阜県 HP 「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

(参考) 内閣官房 HP 「新型コロナウイルス感染症 まん延防止等重点措置」

<https://corona.go.jp/emergency/>

※令和2年10月29日、厚生労働省は新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、これまでに得られた科学的知見について、新たに10の知識としてとりまとめました。この中には、新型コロナウイルス感染症対策分科会から10月23日に提言された『感染リスクが高まる「5つの場面」』についても記載されています。また、新型コロナウイルスの変異についての解説も追加されました。

・「(2021年3月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000749530.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出を控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

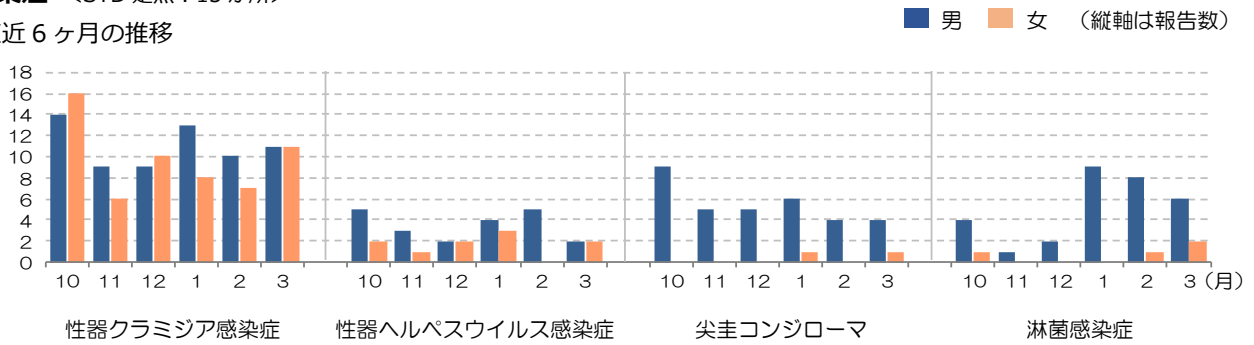
今月の主な動向

- ・性器クラミジア感染症(女性)の報告数が若干増加しました。

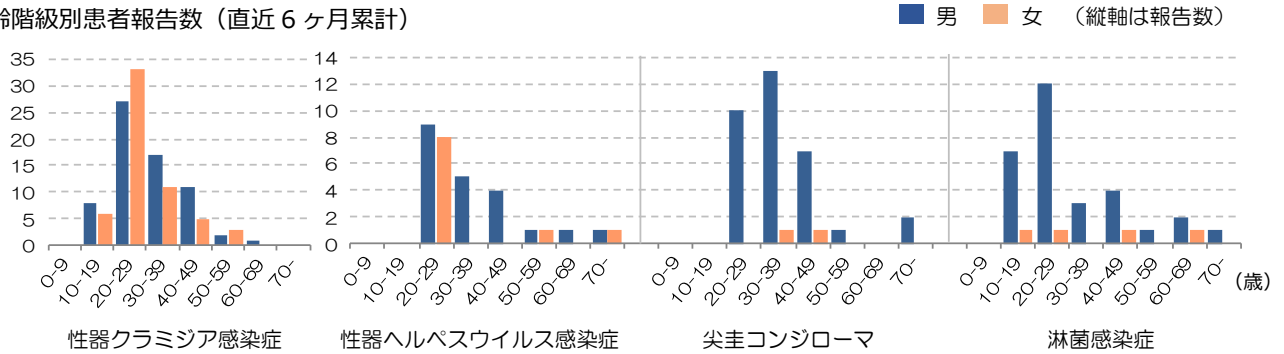
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近6ヶ月の推移

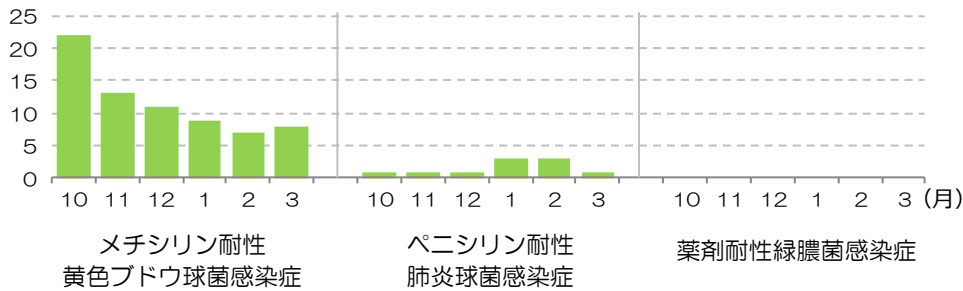


● 年齢階級別患者報告数(直近6ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近6ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況(4月12日現在結果判明分(新規検出分):月は採取月を示す)

臨床診断名	病原体名(遺伝子検出を含む)	3月
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter cloacae</i> カルバペネマーゼ非産生	1
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> カルバペネマーゼ非産生	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus agalactiae</i>	1

※詳細はHPをご覧ください(毎週更新)。<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>